

株式会社鈴木酒造店長井蔵

業種	製造業	事業所所在地	山形県長井市	資本金	30,000千円
				従業員数	12名

	被承継者 (右)		
	鈴木 市夫	77歳	※承継時
	承継者 (左)		
	鈴木 大介	44歳	※承継時
事業承継を行った時期		承継者と被承継者の関係	
2017年	9月	子ども	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
酒類(清酒・焼酎・みりん)の製造、卸販売		人口減による市場縮小やネット環境充実による市場形態の変化が著しく、消費者への効率的な商品情報の提供による需要の取り込みとブランド力の強化が喫緊の課題となっている。	

事業承継を実行するまで			
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備	
承継実行の	1年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
事業承継までの作業とスケジュール確認	自社もさることながら地域社会との持続性を維持すること	特になし	
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安	
	税務署や保健所等の関係省庁への手続きや、取引先、金融機関への挨拶等	特になし	

これに一番苦労した！	
特になし	

事業承継について相談したこと	
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
税理士・税理士法人	経営についての相談と中・長期の経営計画の作成
いつから相談？	
承継実行の	
相談のきっかけ	
事業承継のために承継者または被承継者自身がアプローチ	

新たな取組の標題

クロスメディア戦略のための新規格ボトルラベラーの導入

新たな取組の内容	商品の新たな生産又は販売の方式の導入
----------	--------------------

- 数年前から市場は多様化し、商品分類ごとの詳細情報を効率よく伝え、いかに商品の魅力と銘柄の認知度を上げていくことが課題であった。また、同じ酒であっても、原料米品種が異なったり、容量別やアルコール分別等多品目化することで、その都度表示ラベルを作成するためコストが掛かる上に管理も大変だった。
- そこで、印刷しながらラベル貼付できる新式のボトルラベラーを導入した。ボトルラベラーにより印刷された商品毎のQRコードをスマートフォン等の個人端末を用いて読み取ることで自社サイトの商品ページに導き、詳細な商品情報の提供が可能になった。また、これまで手作業で行っていた表示ラベルの貼り付け作業が、印刷しながらラベル貼り付けが行えるため大幅な作業軽減が実現できた。
- 今後は、ラベルを作成する商品アイテム数を増やしてコスト削減をはかるとともに、拡大する海外市場に対して輸出する国ごとのQRコード作成および自社サイト内に言語別商品ページの作成を進め、自社ブランドの確立、強化を目指す。




磐城壽 本醸造

品目: 日本酒

原材料名 米(国産)、米麹(国産米)、醸造アルコール

醸造アルコール分 65%

内容量 1.8L

仕込ロット 308Y20

製造年月 2019.04

株式会社 鈴木酒造店長井蔵

山形県長井市四ツ宮1-2-21

0238-88-2224

表示ラベルフォーマット

磐城壽 本醸造

品目: 日本酒

原材料名 米(国産)、米麹(国産米)、醸造アルコール

醸造アルコール分 65%

内容量 1.8L

仕込ロット 308Y20

製造年月 2019.04


株式会社 鈴木酒造店長井蔵

山形県長井市四ツ宮1-2-21

0238-88-2224

ボトルラベラー印刷後

※森林部分が印刷部

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
今回の事業により、原料の栽培履歴や商品の製造工程、地域の郷土料理等、商品の詳細を発信できる素地ができた。地域の魅力が伝わるようなプラットフォームの整備と、情報発信をしていきたい。	<p>■ 設備費</p>  <p>経費の主な使い道</p> <p>設備費 (半自動ボトルラベラー導入費)</p>

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施

本補助事業の事業計画の相談とアドバイスを頂きました

今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年に向けて	国内でのブランド確立。そして海外での売り上げ増。今回の事業で導入したボトルラベラーで、印刷したQRコードで言語別のHPに誘導が可能となる。現在、中国語HPを作成中で、商品のほか、酒蔵の背景等の詳細な情報を引き出すことができることは、今後の海外展開においても有意義であり、今回の事業をしっかりと活用したい。
営業利益	15 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
東日本大震災で被災し現在地で事業再開しました。ももとの生業の地であった福島での再開ではなかったため、震災による事業再開の助成の対象にならなかった分、承継者となる息子たちと事業・経営計画を慎重に作成しました。私たちにとって震災は大変な経験でしたが、再開時たてた経営計画がそれぞれの目標となり過ぎてくれたことが大きかったと思います。親身になって相談にのって頂いた金融機関や税理士さんには大変感謝致しております。	事業再開数年はお互い事業承継については口にしなかったのですが、その間の製造と営業は懸命に行いました。余所者だった私達を温かく受け入れてくれた地域の方達と豊かな自然環境に感謝しております。この地域の資源について震災を経て改めて強く考えることとなっています。地域を表現する仕事柄、しっかりと地に足を付け、農業と食、そして私たちの酒を通じて地域コミュニティーの持続性を高めることで、相対的に付加価値が生まれるものと信じます。